

秋田市は、霊峰太平山の裾野に、日本三大美林の秋田杉からなる山々が広がり、冷厳な冬が明け、生きることの力を与えてくれる木々の芽吹き、頬を撫でる爽やかな風、木々のうつろい、日本の四季のすばらしさを体感できるところです。市域に点在している市有林は、約2,700ha、地元団体との分収契約による地域林業の振興、また学校林としての情操教育への貢献と市民の生活環境に安らぎと潤いを提供しています。昭和38年(1963)財政事情に左右されることなく計画的な森林経営を目指し、全国に先駆け「市有林特別会計」を制度化、積極的な森林経営を図ってきましたが、木材価格の低迷から厳しい経営環境が続いています。

そこで、本プロジェクトにより、オフセット・クレジットを取得・販売し、その追加的資金を活用し、大切な私たちの財産を守り育て未来へとつないでいくのが私たちの使命です。

同様なプロジェクトを2件としたのは施業時期が異なるためです。

プロジェクトの実施場所	秋田県秋田市
吸収量(予測)	1,851 t-CO ₂ (登録番号:0093)
2012年度分	2,472 t-CO ₂ (登録番号:0172)
在庫量(2プロジェクト計)	2,334 t-CO ₂ (2012年6月時点)
クレジットの次回発行予定	2012年12月末
1t-CO ₂ あたりの希望単価	¥10,000 (税抜)

「森林は文明の泉、未来にむけて計りしれない可能性を秘めた私達の共通の財産です。」

国の宝は山なり、然れども伐り尽くす時は用に立たず、尽きる以前に備えを樹つべし、山々の吟味なき時は自ら尽きるなり、山の衰えは即ち国の衰えなり
佐竹藩 初代家老 渋江内善正光 より

私たちは、先人の教えに従い子孫に大切な森林をつないでいかなければなりません。その為に私たちは、森林を持続的に管理し、森林の健全性を維持すると共に市民に対し環境・地球温暖化対策の重要性、さらに温室効果ガスの削減や吸収には自らが努力を行うこと、「見える化→自分ごと化→削減努力→埋め合わせ(オフセット)」へとつなげたいとの思いが私たちの願いです。

企業・団体の皆さん、私たち秋田市は、皆さんのカーボン・オフセットへの取り組みに対する、ご提案をお待ちしております。ここから始まる、皆さんと秋田市との新たな「絆」づくりにお力をお貸しください。



秋田杉(日本三大美林)



藤倉水源地(近代化遺産)



竿燈まつり(東北三大祭り)



秋田港(道の駅) セリオン



土崎港曳山まつり(無形民俗文化財)



久保田城 御隅櫓

■担当者連絡先

農地森林整備課 林務担当 長谷川 TEL:018-866-2117

EMAIL: ro-agfr@city.akita.akita.jp